

連絡先 自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL 03-5253-8111内線42354
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成24年11月15日

リコール届出番号	3062	リコール開始日	平成24年11月16日
届出者の氏名又は名称	株式会社 加藤製作所 取締役社長 加藤 公康 問い合わせ先：プロダクトサポート部 TEL 03-3458-1122		
不具合の部位(部品名)	燃料装置 (燃料パイプ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① 原動機において、燃料パイプ製造時に発生するコネクタ部内部のしわにばらつきがあり、また、パイプコネクタ部の締付トルクが低いものがある。このため、高い燃料圧力が加わることにより、当該しわ部を起点とした亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。</p> <p>② 原動機において、サプライポンプとコモンレール間の燃料パイプを固定するクランプを付け忘れたものがある。そのため、エンジンの振動によりパイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>① 全車両、燃料パイプからの燃料漏れ（にじみ、滴下含む。）の有無を点検し、漏れ（にじみ、滴下含む。）が確認された燃料パイプは高圧仕様のものに交換し、新規設定の締付トルクで締付ける。漏れ（にじみ、滴下含む。）がないものは、新規設定の締付トルクで締付ける。</p> <p>② 全車両、サプライポンプとコモンレール間のパイプクランプの有無を確認し、クランプが取り付けられていない場合は、燃料パイプを交換し、クランプで固定する。</p>		
不具合件数	①0件 ②0件	事故の有無	なし
発見の動機	原動機供給元からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：全ユーザーを把握しているため、周知のための措置はとらない。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に「No. 3062」のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
カトウ	EDR - KRC008	カトウ KRM - 13H(M)型 ラフター	KRC008-0051 ~ KRC008-0174 平成20年2月29日～平成22年2月3日	124台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成20年2月29日～平成22年2月3日	(計124台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。